

## 消費者科学専攻 研究指導内容及び指定受験科目一覧

指導教員

上野 顕子

UENO Akiko

指定受験科目

生活経営学・  
生活経済学

## 研究指導内容 家庭科教育学、家族関係学

家族または家族員としての個人に関する諸相を捉え、家族をめぐる生活課題やその背景にある社会構造を探究する。また、それらを学校教育の中で扱っていく家庭科教育のあり方について研究する。

■研究経歴／The University of Alberta, The Faculty of Graduate Studies and Research, Department of Secondary Education 修了。Doctor of Philosophy in Secondary Education。

■所属学会／日本家政学会、日本家政学会家族関係学部会、日本家庭科教育学会、日本家族社会学会、国際家政学会。

■研究業績／(著書)『平成29年改訂中学校教育課程実践講座 技術・家庭』(共著)、株式会社ぎょうせい、2017。  
(著書)『新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して』(中学校技術・家庭家庭分野検定教科書) (共著)、東京書籍、2021。

(論文)『Instructional Activities of Multicultural Education in Canadian Home Economics: A case of Secondary School Education』(共著)、『家庭科教育学会誌』61(2)、2018。

(論文)『知的障害のある生徒に対するネットショッピング指導の現状と教材開発に向けた課題の把握—A県における特別支援学校高等部家庭科担当教員のフォーカスグループインタビューより—』(共著)、『消費者教育』40、2020。

指導教員

小田 奈緒美

ODA Naomi

指定受験科目

生活経営学・  
生活経済学

## 研究指導内容 生活経済学、消費者教育

人間の発達段階に応じ、ライフサイクルのそれぞれのステージで、生涯にわたって生活課題を解決する方法を探究する。また、それらを個人・家庭生活を中心とした、すべての人が自己実現するための能力の開発について研究する。

■研究経歴／椋山女学園大学大学院生活科学研究科人間生活科学専攻博士後期課程単位取得満期退学、博士(人間生活科学)。

■所属学会／日本消費者教育学会、日本家政学会、日本家政学会生活経営学部会、日本家庭科教育学会、国際家政学会。

■研究業績／(著書)『「こどものまち」で世界が変わる—日本中に広がる可能性—』(共著)、『萌文社』2024。

(著書)『「こどものまち」の足跡』(単著)、『「こどものまち」の足跡編集委員会』2018。

(論文)『大学生の消費者力及び自立度に影響を及ぼす要因』(共著)、『消費者教育』2024。

(論文)『男女別にみた大学生の消費者力と自立度に関する比較研究』(共著)、『消費者教育』2024。

指導教員

古寺 浩

KODERA Hiroshi

指定受験科目

生活経営学・  
生活経済学

## 研究指導内容 生活経済学、生活・家政学原論

個人・家族が自らの自己実現を図るべく、経済環境の中で生涯を通してより豊かに生活を営んでいく上で必要となる諸条件について研究する。特に今日注目されつつあるパーソナル・ファイナンスに関する諸理論について、その手法と有効性の検証も行う。

■研究経歴／大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程中退、教育学修士。

■所属学会／日本家政学会、日本消費者教育学会、国際家政学会(IFHE)、アメリカ家政学会(AAFCS)。

■研究業績／(論文)『生涯賃金モデルに基づく消費者教材教育の開発—モデルへの家族構成の組み入れ—』、『日本消費者教育学会中部消費者教育論集 17』2024。

(論文)『大学における生活経済教育の現状と課題：アメリカでの生活経営・生活経済系カリキュラム事例と課題』、『金城学院大学論集 社会科学編』21(1)、2024。

(テキスト)【監修・編集】『生活経済リテラシー向上委員会』講座テキスト(2023)：瀬戸市助成事業(大学生によるまちづくり活動応援助成金)、2023。

(論文)『生涯賃金モデルに基づくパーソナル・ファイナンス教材開発—生涯賃金モデル試案と非消費支出・iDeCo 節税効果の試算—』、『消費者教育』42、2022。

指導教員

宮坂 靖子

MIYASAKA Yasuko

指定受験科目

生活経営学・  
生活経済学

## 研究指導内容 家族社会学、ジェンダー研究

家族、及びジェンダーに関する社会的事象に、比較社会学・歴史社会学の方法を用いてアプローチする。近年は、近代家族から脱近代家族への変動を家族のケア役割と情緒規範に焦点を当てて解明することを試みている。

■研究経歴／お茶の水女子大学大学院人間文化研究科人間発達学専攻博士後期課程単位取得退学、博士(社会科学)。

■所属学会／日本家族社会学会、日本社会学会、家族問題研究学会、比較家族史学会、日本家政学会、日本家政学会家族関係学部会、国際家政学会。

■研究業績／(著書)『避妊言説と家族の親密性—日本型近代家族の歴史社会学』(単著)、書肆クラルテ、2020。『ケアと家族愛を問う—日本・中国・デンマークの国際比較』(編著)、青弓社、2022。『アジアの家族とジェンダー』(共著)、勁草書房、2007。

(論文)『家族の情緒化と「専業主婦」規範—専業主婦の日中比較—』、『社会学評論』256、2014。

『家族の近代化・脱近代化と子育て—ケアネットワークと情緒規範からのアプローチ』、『家族関係学』37、2018。

## 消費者科学専攻 研究指導内容及び指定受験科目一覧

指導教員

石田 淳子

ISHIDA Junko

指定受験科目

健康栄養科学

### 研究指導内容 病態栄養学

臨床栄養では病態に見合う適切な栄養管理を行う必要がある。疾病の栄養療法を学ぶとともに、サルコペニア・フレイル等、栄養介入が必要な症状に関する検討を行う。

■研究経歴／静岡県立大学大学院博士前期課程修了。病態栄養専門管理栄養士(日本病態栄養学会認定)。

■所属学会／日本透析医学会、日本病態栄養学会、日本栄養改善学会。

■研究業績／(論文)「日本人の食事によるリン摂取量-透析患者も含めて- 日本透析医会雑誌vol.30(3):512-518,2016.

(論文)Recent advances in the nutritional screening, assessment, and treatment of Japanese patients on hemodialysis. J Clin Med. 12(6):2113. 2023(共著)。

指導教員

太田 明伸

OTA Akinobu

指定受験科目

健康栄養科学

### 研究指導内容 生化学

身の回りにある食品は様々な成分で成り立っている。生体内に取り込まれた食品成分は、生体エネルギーの源となるだけでなく細胞の働きを調節する。ゲノム情報を用いて、栄養成分が細胞に及ぼす影響を解析することにより「プレジジョン栄養」について考察する。

■研究経歴／札幌医科大学大学院医学研究科修了。博士(医学)。

■所属学会／日本癌学会、日本血液学会、日本生化学会、日本骨髄腫学会。

■研究業績／(論文)Inhibition of VEGFR2 and EGFR signaling cooperatively suppresses the proliferation of oral squamous cell carcinoma. Cancer Med.12:16416-16430, 2023(共著)。

(論文)CAMK2D: a novel molecular target for BAP1-deficient malignant mesothelioma. Cell Death Discov. 9(1): 257, 2023(共著)。

(著書)ゲノム編集技術を応用した遺伝子治療法の開発と現状 ゲノム編集技術～実験上のポイント/産業利用に向けた研究開発動向と安全性周知,109-125. 2023(共著)。

指導教員

岸 和廣

KISHI Kazuhiro

指定受験科目

健康栄養科学

### 研究指導内容 臨床栄養学

チーム医療へ積極的に参画することを目標に、臨床栄養学のスキル修得を基本に据えている。経腸栄養剤の物性解析や緩和ケアにおける栄養問題等の実践テーマに触れ、医療従事者として求められる多角的な視野も養う。自身の実務経験を教育に活かし、将来に渡って臨床栄養系の認定資格取得を目指すスキルアップの意識と素養を備えた優秀な人材を育てる。

■研究経歴／静岡県立大学大学院博士後期課程修了。博士(食品栄養科学)。栄養サポートチーム(NST)研修修了、臨床栄養師(日本健康・栄養システム学会認定)、静脈経腸栄養(TNT-D)管理栄養士、食物アレルギー分野管理栄養士(日本栄養士会認定)。

■所属学会／日本栄養治療学会、日本健康・栄養システム学会。

■研究業績／(著書)重症患者と栄養管理Q&A(共著)総合医学社、2010。

(著書)徹底ガイド 胃ろう(PEG)管理Q&A(共著)総合医学社、2011。

(論文)ナトリウム管理における栄養療法のポイント 静脈経腸栄養24(3), 793-796, 2009。

指導教員

北森 一哉

KITAMORI Kazuya

指定受験科目

健康栄養科学

### 研究指導内容 予防栄養学

生活習慣病の予防・改善に着目している。生活習慣病は増加しており、その対策は望まれているが遅々としている。非アルコール性脂肪性肝疾患の病態メカニズムの解明・栄養素による予防改善効果の検討を行う。

■研究経歴／神戸学院大学大学院修士課程修了。名古屋大学研究生 博士(医学)。

■所属学会／日本栄養改善学会、日本栄養食糧学会。

■研究業績／(論文)SHRSP5/Dmcr rats fed a high-fat and high-cholesterol diet develop disease-induced sarcopenia as nonalcoholic steatohepatitis progresses. Ann Anat. 2023.

(論文)Suppression of nitric oxide synthase aggravates non-alcoholic steatohepatitis and atherosclerosis in SHRSP5/Dmcr rat via acceleration of abnormal lipid metabolism. Pharmacol Rep. 2022.

指導教員

清水 彩子

SHIMIZU Ayako

指定受験科目

健康栄養科学

### 研究指導内容 調理学

疾病の予防、健康保持・増進のためには、毎日の食事をおいしくいただくことが不可欠である。おいしい食事を提供するための調理工程や、調理による食品の成分、外観、食感の変化、その評価方法を検討する。

■研究経歴／京都府立大学大学院修士課程修了。

■所属学会／日本調理科学会、日本栄養改善学会、日本食育学会。

■研究業績／(論文)加熱調理における火の学びICT教材の学習効果-VR教材と動画教材の比較- 日本家庭科教育学会誌64(4), 288-299,2022。

(論文)バーチャルリアリティを用いた火の学び教材が私立女子高校生の調理実習時の行動と学習到達度に及ぼす影響 日本家政学会誌72(3),140-151,2021。

指導教員

藪田 邦博

SONODA Kumihiro

指定受験科目

健康栄養科学

**研究指導内容 食品学、食品機能学**

我々は毎日の食事から種々の食品を摂取していることから、食品成分の生体に対する影響を明らかにすることは栄養学的に重要である。新たな食事療法の開発に貢献するため食品成分の疾患(循環器疾患、肝疾患、糖尿病など)に対する有効性から、その作用メカニズムまで検証する。

■研究経歴/城西大学大学院薬学研究所医療栄養学専攻修了、博士(薬科学)。

■所属学会/日本栄養改善学会、日本薬学会、日本NO学会。

■研究業績/(論文) Dietary nitrite supplementation attenuates cardiac remodeling in L-NAME-induced hypertensive rats.

Nitric Oxide. 1:67:1-9. 2017(共著)。

(論文) Dietary nitrite reverses features of postmenopausal metabolic syndrome induced by high-fat diet and ovariectomy in mice.

Am J Physiol Endocrinol Metab. 1:312(4):E300-E308. 2017(共著)。

指導教員

内藤 久雄

NAITO Hisao

指定受験科目

健康栄養科学

**研究指導内容 衛生学**

近年増加傾向の生活習慣病の1つ、肝疾患である非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)の病態メカニズムを解明するために、NASHモデル動物(ラット)を用い、分子生物学を中心とする実験医学研究に関する知識・技術を幅広く学習する。

■研究経歴/名古屋大学大学院医学系研究科修了。医師、博士(医学)。

■所属学会/日本衛生学会、日本産業衛生学会、日本疫学会、高血圧関連疾患モデル学会。

■研究業績/(論文) High-fat and high-cholesterol diet decreases phosphorylated inositol-requiring kinase-1 and inhibits autophagy process in rat liver. Sci Rep. 9:12514. 2019(共著)。

(論文) The antihypertensive agent hydralazine reduced extracellular matrix synthesis and liver fibrosis in nonalcoholic steatohepatitis exacerbated by hypertension. PLoS One. 15:e0243846. 2020(共著)。

(資料) 許容濃度等の勧告(2020年度)日本産業衛生学会 62:198-230. 2020(共著)。

指導教員

丸山 智美

MARUYAMA Satomi

指定受験科目

健康栄養科学

**研究指導内容 加齢栄養学**

ヒトのライフステージに焦点をあて、成長や発育・妊娠や分娩・加齢などによる影響を栄養学見地から検討する。とくに、実践栄養学においての科学的根拠の構築を行うために環境や社会的・文化的影響を分析し考究する。

■研究経歴/昭和女子大学大学院生活機構研究科修了。博士(学術)。

■所属学会/日本栄養改善学会、日本公衆衛生学会、日本臨床栄養学会、日本思春期学会、日本女性医学学会。

■研究業績/(論文) The Operation System of School Lunches in Japan: System Construction Considering. *The Japanese Journal of Nutrition and Dietetics*. 2018.

(論文) Effects of health education using lunch and diet education media in employee canteen for Japanese workers. *Annals of Nutrition & Metabolism* 75 / suppl.3. 404. 2019.

## 消費者科学専攻 研究指導内容及び指定受験科目一覧

指導教員

長嶋 直子

NAGASHIMA Naoko

指定受験科目

被服環境学

## 研究指導内容 繊維加工学、洗浄科学

地球温暖化の影響とその課題解決に向け、持続可能な衣生活の提案と実践が強く求められている。環境への負荷が少ないエコフレンドリーな繊維染色加工をテーマに、生分解性繊維、再生繊維と天然由来物質の有効活用を研究する。

■研究経歴／信州大学大学院総合工学系研究科生命機能・ファイバー工学専攻 博士課程修了。博士(工学)。

■所属学会／繊維学会、日本繊維製品消費科学会、日本家政学会、日本衣服学会。

■研究業績／(著書)「衣服材料学」朝倉書店(2020)(共著)。

(著書)「Structure and Physical Properties of Wool」Sen-i sha Co.,Ltd (2016)(共著)。

(論文)「ヒト由来の不快感に対する布の消臭性評価簡便法の提案:嗅覚測定法の応用」衣服学会誌(2024)(共著)。

(論文)「ラッカーゼによる色素の漂白作用」繊維学会誌(2013)(共著)。

(論文)「Shrink Resistance of Pulse Corona Discharge / Keratinase Treated Wool Fabrics : Relation between Shrink Resistance and Strength」繊維学会誌(2012)(共著)。

指導教員

加藤 悠介

KATO Yusuke

指定受験科目

住環境学

## 研究指導内容 建築計画学、ケア環境学

人間の生活行動と建築空間の関係性に着目した研究を行う。特に、生活に困難を抱える人々に対して、住居、地域、社会の幅広い視野から生活の質を向上させるための居住環境のあり方を探求する。

■研究経歴／大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程単位取得満期退学、博士(学術)。

■所属学会／日本建築学会、日本認知症ケア学会、人間-環境学会、日本インテリア学会。

■研究業績／(著書)「ケア空間の設計手法」(共著)、2023。「福祉転用における建築・地域のリノベーション」(共著)、2018。

(論文)「ファミリーホームの生活実態と空間構成に関する基礎的調査」日本建築学会、2020。

(論文)「認知症のための環境づくりとアクションリサーチ 実践と研究をつなげる手法」日本認知症ケア学会、2018。

指導教員

朴 相俊

PARK SangJun

指定受験科目

住環境学

## 研究指導内容 建築構造・材料学

建築物とその外部環境とを構成する素材は多種多様であり、材料として極めて重要でありながらその特性を理解するには多くの努力が必要である。研究では、環境配慮型の新材料提案を目標とする。また、新材料開発では材料の組織や成分など物理的な基本物性を明らかにする。

■研究経歴／名古屋大学大学院工学研究科後期博士課程修了。博士(工学)。

■所属学会／日本建築学会、日本コンクリート工学会。

■研究業績／(論文)「Estimation of Fire Damage in High-Strength Mortar Mixed Polypropylene Fibers by Ultrasonic Tomography」Fire Science and Technology, 2007。(共著)。

(論文)「小径ドリル型穿孔試験機を用いたコンクリートの圧縮強度推定」日本コンクリート工学会年次論文集、2017。(共著)。

(論文)「誘発目地によるひび割れ発生状況の変化に関する解析的研究」日本コンクリート工学会年次論文集、2018。(共著)。

指導教員

長谷川 直樹

HASEGAWA Naoki

指定受験科目

住環境学

## 研究指導内容 都市・地域計画学、まちづくり論

人口減少・少子高齢化や地球環境問題への対応、持続発展性のある社会づくりを行っていくうえで、人の生活や活動の場である都市・地域を適切に計画・運営するための効果的で効率的な方策について、ハード・ソフト両面から研究する。

■研究経歴／名城大学理工学部卒業。名城大学 博士(工学)。

■所属学会／日本都市計画学会、日本建築学会、コミュニティ政策学会。

■研究業績／(論文)「中学校での地域貢献活動プログラムによる地域の愛着・地域貢献意欲への影響分析」都市計画論文集(共著) 2022/10/25。

(論文)「大学教育でのフィールドワークによる地域に対する意識形成の効果に関する分析 飯塚市中心市街地の事例研究」日本建築学会技術報告集(単著)2020/02/20。

(論文)「不便さが商店街の愛着、満足、再利用意向に与える影響」都市計画論文集(共著)2019/10。

(論文)「新庁舎移転整備の合意形成における検討プロセスの効果についての考察」日本建築学会技術報告集(単著)2019/02。

(論文)「居住地から目的地までの距離が愛着と満足の関係性に与える影響に関する研究」都市計画論文集(共著)2018/10。

(論文)「住民主体による都市再生整備計画の実施プロセスの効果についての考察」日本建築学会技術報告集(単著)2017/10。

(論文)「中学校における不便性を取り入れた『地域貢献プログラム』による地域意識形成効果」都市計画論文集(共著)2024/10。

## 消費者科学専攻 人間生活学研究科前期課程共通科目 授業科目の内容

## 人間生活学研究法Ⅰ

まず、測定の基本を復習しながら、さまざまな要因(独立変数)の効果は平均値から推定でき、分散を分解することで各要因の関与の程度が推定できることを理解する。さらに、単回帰を復習する。以上のことを基礎に、多変量解析の導入としての重回帰分析と主成分分析を学ぶ。次に、簡単な共分散構造分析を学び、因子分析を共分散構造分析の文脈から理解する。

なお、講義内容については受講生の統計の知識に応じて変更することがある。

## 人間生活学研究法Ⅱ

本授業では、コンピュータの基礎機能や仕組みを知り、パソコンの基本操作、ワープロ機能、画像処理、情報倫理、情報検索・発信、表計算、プレゼンテーションと一通りの学習を行う。大学においてコンピュータを十分に活用していることと考える学生は、履修しておくのが望ましい。

## 消費者科学専攻 授業科目の内容

## 消費生活特論Ⅰ

消費に関連した時事問題について幅広い知識を深める。消費生活相談員資格試験、消費生活アドバイザー資格試験等の受験を目標に、過去問題の研究とともに、小論文作成の基礎能力を養成する。

## 消費生活特論Ⅱ

現代の家族が直面する課題に気づき、消費者教育が必要とされてきた社会・経済的背景をふまえ、消費生活の在り方や本質を理解し、課題の解決に向けて理解を深める。さらに、課題図書を設定し、文献を読み深めていく。

## 消費生活特論Ⅲ

最近の消費者問題・消費者運動・消費者政策に関する資料・論文を分析し、それに対する各自の考えをまとめ、論述する。以上のような分野であれば、修士論文執筆の際に役立つような内容に調整することが可能である。

## 消費生活特論Ⅳ

食の安全・安心を確保するための手法としてのクロマトグラフィーの有用性を学んだ後、クロマトグラフィーの原理および平板、ガス、液体、向流の各クロマトグラフィーについて詳細に検討を加える。さらに、質量分析計との結合や試料から目的化合物の精製法についても学ぶ。

## 消費生活特論Ⅴ

ファイナンシャル・プランナー資格取得に必要な6つの学習分野について具体的事例を交えながら消費・生活経済学とのかかわりをもって解説する。その後、各自が興味を持った分野に関する文献を検索・講読し、レポートを作成する。

## 消費生活特論Ⅵ

社会における複雑な問題を科学的に分析し、最適な意志決定を行う科学的・数理的方法を学習する。オペレーションズ・リサーチ(Operations Research[OR])は、第二次世界大戦中に開発された、データを調査分析して作戦を立案する分析方法)のいろいろな手法により、社会の中で出会う様々な問題を数理的なモデルにモデル化して解決する。

## 消費生活特論Ⅶ

実践的综合科学である家政学の特徴をふまえた生活経営学の理論と研究方法を学び、現代の生活問題を生活経営学の視点から考究する。また、生活経営学領域の学術論文の書き方について学ぶ。

## 消費生活特論Ⅷ

家庭科教育で消費生活の内容がどのように教えられてきたかを歴史的に捉える。また、他の国の家庭科教育についても探究する。教育方法等については課題図書を設定し、文献を読み深めていく。これらの分析により、家庭科教育における消費生活に関する教育の将来を展望する。

## 消費生活特論Ⅹ

国内外の消費者教育に関する代表的な文献を収集、講読し、消費者教育の本質理念と内容について理解する。次いで、「高度情報社会」、「持続可能な消費」をキーワードとした消費生活の課題を調べ、現代社会における消費者としての能力と必要とされる消費者教育の内容について検討する。

**消費生活特論Ⅺ**

人々の消費生活を取り巻く種々の事象、消費財について基礎薬学的視点から俯瞰することによって、より科学的に事象・消費財について理解・考察する知識・技能を蓄える。そのことによって、身の回りのものをより賢く利用する、あるいは新しいもの・システムを構築する能力を養い、人々の生活を高める人材となるきっかけをつかむことを目的とする。

**消費生活特論研究演習Ⅰ (外書講読を含む)**

消費生活に関する英語文献を選定し、それを講読することにより、研究テーマを見つけ、研究方法の確定、論文作成の技法などを学ぶ。

**消費生活特論研究演習Ⅱ (外書講読を含む)**

消費者教育を中心に生活経営学領域における人間の発達と発達段階ごとの影響要因、特に家族の影響について考察する。中心となるテーマは、「子どもの消費者社会化」である。また、研究の理論的根拠を家政学と消費者科学におき、これらの学問のパラダイムについて考究する。

**消費生活特論研究演習Ⅲ (外書講読を含む)**

消費生活に関する英語文献を選定し、それを講読することにより、研究テーマを見つけ、研究方法の確定、論文作成の技法などを学ぶ。

**消費生活特論研究演習Ⅳ (外書講読を含む)**

消費生活に関する研究を実践するために国内外の文献を購読し、必要な基本的な視点と発想力、課題を考究するために必要な方法論と分析力、及び、論文構成力を養う。

**生活の質特論Ⅰ**

夏涼しく、冬温かく、私たちが快適な衣生活を送るために、高性能繊維の開発が日夜行われている。また、医療、建築、農業、水産、通信、そして宇宙産業に至るまで、様々な繊維によって支えられている。そのような繊維の特性を概説するとともに、これからの社会が求める繊維とは何か、「2030年繊維技術ロードマップ(経産省)」も踏まえながら考える。

**生活の質特論Ⅱ**

繊維アパレル産業は大量の水、薬剤、エネルギーを消費し、環境への負荷が大きい。そのため、持続可能な衣生活の提案と実践が強く求められている。環境への負荷が少ないエコフレンドリーな繊維染色加工とは何か、生体由来物質である酵素や天然由来物質の有効活用、無水染色などを概説する。

**生活の質特論Ⅲ**

ヒトと動物の自律性および行動性体温調節応答について解説し、その調節のメカニズムについて論じる。さまざまな生活環境の変化に対しての対応の仕方を学び、衣生活・住生活との関係、さらには環境への適応能力とそのメカニズムについても解説する。

**生活の質特論Ⅳ**

多様性を尊重する時代となり、高齢者や障がい者への対応は早急に取り組まなければならない課題が多い。本講義では、高齢者や障がい者の立場から生活環境を評価し、より多くの人に使いやすいユニバーサルデザイン、インクルーシブデザインを考える。

**生活の質特論Ⅴ**

建築・都市空間は、建築物や都市施設等のハード施設とそれらを効果的に利用するための活動としてのソフトの両面がデザインされることが重要である。本講義では、実在する建築・都市空間のハード・ソフトのデザインを学びながら、実在する建築・都市空間のデザインのあり方について提案するプロセスと技術を学ぶ。

**生活の質特論Ⅵ**

この授業ではテキストを用いて、「建築構成の手法」について学ぶ。建築の構成とは、「諸要素の形や配列を決めつつ、それらを三次元の中で組み合わせることで全体をつくり上げること」である。そして、建築構成の手法とは、「ある構想の下に組み合わせの規則や秩序を設定し、それを具体的な構成の中に適用する」やり方である。このテキストでは、比例、幾何学、対称、分節、深層と表層、層構成といった6つの建築構成概念に整理され、概説されている。授業では、テキストにしたがって、それらの建築構成概念にもとづき、建築構成の手法について検討していく。

**生活の質特論Ⅶ**

住生活の質の向上のためには、住まいや建築に対して、人間の心理・行動、社会、地域など様々な視点から捉える必要がある。この授業では、それらの視点について具体例を交えて説明し、住生活を支える仕組みを講義する。

**生活の質特論Ⅷ**

新材料及び新工法の開発を目指して、建築材料の力学的特性及び耐久性などの定量的な性能評価について既往の研究から学ぶ。また、SDGsの取り組みとして、エネルギー消費量及びCO<sub>2</sub>排出量を抑える環境配慮型材料の開発について考えていく。

**生活の質特論Ⅸ**

環境や食品に含まれる化学物質によるヒトへの健康影響について理解を深め、科学的根拠をもとにした化学物質の安全性のあり方について学び、考究する。

**生活の質特論Ⅹ**

栄養学や医学の文献を通じて、生活の質の向上と栄養学との関連を探る。

**生活の質特論Ⅺ**

人間は「食べる」ことによって生命や健康を維持しているが、その食生活が逆に「メタボリックシンドローム」の原因となることもある。食品と加工、調理について考究する。

**生活の質特論Ⅻ**

女性のライフサイクルである、思春期、成熟期、妊娠、出産、更年期、高齢期に最適な栄養教育法について学ぶ。また科学的評価の手法についても学習する。

**生活の質特論Ⅼ**

ヒトが健やかに心豊かに生きていくためには、人生のどのライフステージにおいても継続的な食の供給が必要である。生活の質(QOL)向上のための食事設計について、調理学や給食経営管理の理論を基に、事例や先行研究を踏まえて学ぶ。

**生活の質特論Ⅽ**

高齢化社会における重要な問題として健康の問題がある。特に生活習慣病(ガン・動脈硬化・高血圧・糖尿病など)の防御が重要である。研究成果を中心に、科学的知見について、加齢栄養学の視点から講義を行う。またヒトが健康を維持するための栄養学的なアプローチについて考察する。

**生活の質特論Ⅾ**

超高齢化社会の到来、国民生活の変化と多様化に伴う生活習慣病の増加などにより食生活の質が問われている時代である。国民の健康維持・増進及び疾病予防や生活の質(QOL)の向上のために、食環境と食生活のあり方について学ぶ。

**生活の質特論Ⅿ**

食の効果の個人差を考慮し、一人ひとりに最適な栄養指導を行う「Precision Nutrition(精密栄養)」が近年注目されている。多面的に文献を講読した上で、精密栄養に関わる因子についてプレゼンテーションとディスカッションにより洞察する。

**生活の質特論研究演習Ⅰ(外書講読を含む)**

人間の感性や生理機能に適合した高品質なテキスタイル、繊維染色加工に関連する内外の研究文献を講読する。現在までに明らかになっている知見および研究方法を学ぶ。

**生活の質特論研究演習Ⅱ(外書講読を含む)**

建築構造及び建築材料に関連する研究テーマを設定し、これに関しての既往の研究を分析・考察する。最終的な成果のみでなく、課題の選定やそれに関するプレゼン、分析、そしてそれをまとめていく。それによって、建築工学の枠組みを超えた自らの専門領域を開拓していく力を養うこと目的とする。

**生活の質特論研究演習Ⅲ(外書講読を含む)**

健全な栄養状態の保持増進、望ましい食習慣の形成、伝統的食文化の継承・発展と新しい食文化の形成などを系統的・総合的に分析し、これからの食生活のあり方を考察する。そのために、食生活の諸問題についての国内外の文献を講読し、討議により理解を深め考察する。さらに研究論文のまとめかたについても学び、具体的な研究計画の作成を試みる。

**生活の質特論研究演習Ⅳ(外書講読を含む)**

生活の質によって、健康状態は変化する。生命科学や健康維持に関する国内外の文献を講読するとともに、研究の手法、論文の書き方などについて学び、生活の質の向上の概念を、人体の構造と機能の観点から考究する。実地調査を踏まえて課題解決を検討する。

**特別研究**

修士論文の指導を行う。担当する指導教員名および研究指導内容については、「研究指導内容及び指定受験科目一覧」を参照してください。